

かけはし

学校運営協議会会長
但田 勝義
(発行者)
学校運営協議会事務局
平川 亮一

発行日：令和5年3月17日

令和4年度第3回学校運営協議会開催

3月16日(木)に、令和4年度第3回学校運営協議会を開催しました。

今回は令和4年度学校評価について、令和5年度学校経営方針について、地域と連携した防災について、熟議を行いました。

令和4年度学校評価では、各評価項目に差異はみられるものの、保護者及び地域の平均値は、教職員より比較的高い数値になっており、学校における教育活動が保護者や地域の方々に応援されている結果であると考えています。今後も評価を参考にしながら、創意工夫した教育活動を進めていくと伝えられました。



令和5年度学校経営方針では、現状と課題、学校教育目標、目指す姿、学校経営の基本方針、学校教育の基本方針が伝えられました。次に重点として「Society5.0時代における教育実践を創造する指導力向上と組織の再構築」、キーワードとして「研修、更新、公開」が示されました。続いて、3つのキーワードを踏まえた上で設定された学校経営推進重点4点及び具体的取組・学校教育推進重点4点及び具体的取組が上げられました。最後に学校運営協議会委員の皆様から、理解と承認が得られました。

地域と連携した防災をテーマとした熟議では、前回協議した内容を振り返り、A・Bグループに分かれ、Aは大規模地震・津波の避難について、Bは災害に対する地域連携について協議を進めました。

Aでは、地域の立地条件から心配されることや課題が上げられ、情報を得るためにも人とのつながりが大切であること、一日防災学校を近隣学校と一緒に試してみようかなどの意見が出されました。

Bでは、地域連携の規模や方向性について話し合わせ、



市の避難指定場所でもある声問小学校への避難訓練の可否の検討から始め、地域住民や民間企業に呼びかけ、参加可能な範囲内で参加、理解を得るなど、徐々に規模を大きくしていけると良いなどの意見がかわされました。

個人の感想になりますが、学校や企業一単位の訓練ではなく、将来的には地域全体でみる災害避難の重要性を感じました。トルコ・シリアの大地震や、東日本大震災がこの地区で起こってしまったからでは…。被害を最小限に留める上で、備えることは無駄ではないと感じました。